

美唄市地域おこし協力隊募集企画（中心市街地活性化推進マネージャー）

企画内容	
受け入れ担当課	経済観光課商工労働係
隊員の伴走者（役職・氏名）	① 担当職員：主事 長山 ② 担当職員の上司：係長 高橋
協力隊を採用して 解決したい地域課題	商店街からの客離れが進み、地域の「顔」である中心市街地で空き家・空き店舗が増加し、賑わいが失われつつある。
導入の目的	空き店舗や空き家の利活用を通じた中心市街地の賑わい創出・再生。
活動のゴール・方向性(ビジョン)	① 中心市街地活性化推進機構を軸とした持続可能なまちづくり体制の確立 ② 空き店舗等の利活用プロジェクトの定着と外貨獲得による地域課題解決の仕組み化
活動のテーマ	中心市街地活性化推進機構と連携した、空き店舗利活用促進と中心市街地の賑わいを取り戻す『仕掛け人』としての事業企画・運営。
募集コンセプト・テーマ	【募集題字】 中心市街地活性化推進マネージャー（空き店舗利活用促進・賑わい創出） 【補足コピー】 地域の「顔」である中心市街地を再び元気に。空き店舗を活用し、賑わいと新たな挑戦を生み出す『仕掛け人』を募集！
こんな方にオススメ	・まちづくりや空き店舗・空間の利活用、イベント企画に強い関心がある方 ・地域住民や商店街関係者と誠実に話を聞き、円滑な合意形成や調整ができる方 ・自ら課題を発見し、関係者を巻き込みながら主体的に挑戦したい方 ・任期終了後に地域で店舗経営（起業）やまちづくり事業で自立・定住したい方
任期後のキャリアイメージ	【独立】空き店舗を活用した自身のビジネス（起業）による店舗経営、またはまちづくりコンサルタントとして独立開業。 【就職】中心市街地活性化推進機構の正規職員としての就職、または市内まちづくり関連企業への就職。 ※美唄市内で起業・就業して定住する意欲のある隊員に対し、市が提供可能な起業支援補助金等の活用を想定。
採用予定人数	1名
担当ができる隊員へのサポート	・定期的なロードマップのすり合わせ、日常業務支援、勤怠管理、予算獲得のバックアップ ・着任時の関係者・商店街等への挨拶回りや地域案内の実施、会合・行事への参加サポート ・先進地のまちづくり研修受講支援、任期後の定住・起業に向けた店舗確保や資金管理などの調整支援
活動内容	【メイン業務】 ・空き家、空き店舗等の課題解決に直結するプロジェクトの企画運営 ・多様な関係者（商店街、行政、市民等）との合意形成・ファシリテーション ・外貨獲得による課題解決のための企画戦略立案およびマーケティング ・中心市街地活性化推進機構の経営管理や事務局運営サポート 【サブ業務】 ・先進地のまちづくり・空き店舗活用事例の研修受講 ・自身の起業に向けた試作品・サービス開発やビジネスモデルの検討
3年目の目標	【引き継ぐ・定着させる・自立する】 ・定住・起業・就業に向け、自身の商品・サービス開発やビジネスモデルを完成させる ・中活推進機構の自立化に向けた組織運営サポートおよび事務局運営の確立 ・企画プロジェクトを地域や組織に引き継ぎ、自立できる体制を整える
2年目の目標	【動かす・広げる】 ・前年度企画プロジェクトを本格運営し、多様なステークホルダーとの合意形成・調整を行う ・外貨獲得に向けたマーケティング戦略立案および具体的なイベント・事業の実施 ・協力隊終了後の自身の進路・ビジネスモデルの具体化を図る
1年目の目標	【知る・試す・馴染む】 ・地域住民や商店街関係者と関係性を構築し地域に馴染む ・中心市街地の現状（空き店舗の状況等）や中活推進機構の組織運営について基礎を把握する ・課題解決プロジェクトの企画立案と、周辺サポート業務を開始する

3 年目の活動内容	・プロジェクトの定常化および中活推進機構への事務引き継ぎ・組織運営体制の確立サポート ・任期終了後の自立（起業・就職）に向けた店舗確保や資金管理などの具体的な調整 ・地域内での広報協力や、定住に向けた地域住民との最終調整
2 年目の活動内容	・空き店舗活用プロジェクトのイベント・実証実験の企画運営 ・マーケティング戦略に基づく外貨獲得事業の試行 ・商店街や地域コミュニティのキーマンとの個別調整・合意形成の深化 ・自身の起業・就業に向けた試作品・サービス開発およびビジネスモデルの検討
1 年目の活動内容	・市内の空き店舗・空き家の現状把握およびデータ整理 ・中活推進機構の業務フロー把握および事務局運営サポート ・先進地のまちづくり・空き店舗活用事例の研修受講 ・課題解決プロジェクトの企画立案と周辺サポート業務の実施
1 年目の活動詳細 （着任 3 ヶ月間）	・委嘱式、オリエンテーションの実施 ・地域案内および商店街関係者・キーマン等への挨拶回り ・地域の会合や祭りなどの地域行事へ参加し、地域との関わりを深める ・中活推進機構の業務フローおよび組織運営についての基礎把握
1 年目の活動詳細 （着任 3 ヶ月～ 6 ヶ月）	・市内の空き店舗・空き家の現状（件数・所有者意向等）の調査・把握 ・先進地のまちづくり・空き店舗活用事例の研修受講 ・中活推進機構の日常業務サポートおよび地域コミュニティとの交流継続
1 年目の活動詳細 （着任 6 ヶ月～ 9 ヶ月）	・現状把握を踏まえた空き店舗利活用・課題解決プロジェクトの企画立案 ・商店街関係者や行政等との初期的な合意形成・意見交換の実施 ・自身の任期後ビジネスモデルに関する初期検討
1 年目の活動詳細 （着任 9 ヶ月～12ヶ月）	・翌年度からの実証実験・イベント開催に向けた準備と調整 ・中活推進機構および関係者との役割分担・支援体制の最終調整 ・1年目の活動振り返りと2年目計画の精査